

浜松市では、令和4年（2022年）3月のロシアによるウクライナ侵攻に伴い、「ウクライナ人道支援窓口」を浜松市多文化共生センター内に設置、公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）が具体的な支援活動を担ってきた。その後、令和5年（2023年）3月14日に浜松市ウクライナ避難民支援協議会をHICE内に設置、浜松国際交流協会ウクライナ避難民生活支援寄附金（以下、「寄附金」）を活用して、浜松市内在住のウクライナ避難民が安心して自立した避難生活を送ることができることを目的として、以下の支援事業を実施した。

令和7年（2025年）2月15日現在、新規に市内転入する避難民が想定されないこと、令和4年（2022年）以降に浜松市で暮らす避難民については在住が長期化し、学校や大学のプログラムを修了し、アルバイトや就労先が決まるなど生活の自立が進んできていることから、特別な支援体制を終了する。今後は、必要に応じて一般的な在住外国人支援の枠組みの中で行う。

◆経緯及び期間

2022年3月11日 浜松市「ウクライナ人道支援窓口」を浜松市多文化共生センター内に設置、HICEが実際の支援を開始。

2022年8月 浜松市委託事業としてウクライナ避難民生活支援員配置をHICEが受託。浜松市としての支援員配置は2024年3月31日まで。2024年4月1日～2025年3月31日まではHICE自主事業として支援員を配置。

2023年3月14日 HICE内に、公益財団法人浜松国際交流協会「浜松市ウクライナ避難民支援協議会」設置、協議会で寄附金を活用しながら支援を継続。

2025年2月28日 ウクライナ避難民の自立に伴い、寄附金使い切り、協議会解散予定

2025年3月31日 「ウクライナ人道支援窓口」閉鎖予定

◆ウクライナ避難民

浜松市内 累計19名受入れ、うち4名浜松市在住（2月15日現在）

内訳 元オイスカ留学生 累計 5名 →うち、2名

元静大留学生 累計 8名 →うち、2名

一般 累計 6名（1家族3名を含む）

※一般のうち、1名が身元引受人無しで日本政府経由で浜松市に転入。

それ以外は市民の縁故者。

※現在在住している4名は、日本在住の長期展望を持ちながら、今後の人生設計を描いている。

うち1名は4月から龍谷大学において日本語を専攻する予定。うち2名は正社員を目指して就活中。

◆支援の申し出

【支援物資等】

合計 100 件 自転車、布団、生活用品、通訳等の支援の申し出
実際に、自転車、布団、生活用品等について活用

【HICE ウクライナ避難民生活支援寄附金の受付】

総額：5,485,213 円

内訳：浜松市ウクライナ避難民等支援寄附金

（浜松市が市民・企業・団体等から受けた寄附金）	2,201,750 円
浜松市ウクライナ人道支援チャリティー・コンサート募金	2,566,003 円
一般 13 件	717,460 円

◆生活支援事業

◎生活支援金の支給 単身者 1 人につき 1 年 300,000 円

2023 年 6 名に支給、2024 年 5 名に支給、1 名は 28 万円支給

※ウクライナから初来日した際に最初に浜松市に住民登録した避難民について、直後に浜松市より単身者 1 名につき 30 万円、1 家族につき 50 万円を支給している。2 回目以降について、寄附金から生活支援金を支給。

◎日本語学習支援 外国人学習支援センターにおける日本語教室での受け入れ等
一般 3 名

◎公営住宅入居支援

・県営住宅居住者（静大留学生）へ家具レンタル支援（冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・エアコンなど）2 部屋 18 か月分

・台所用品・寝具など HICE にて購入もしくは市民からの寄付を活用

◎生活相談 ロシア語・英語のできる支援員を配置し、生活相談全般にあたった。寮等を退室する際の部屋探し、確定申告支援、その他。

◎医療・保健機関への通院支援

医療機関への紹介、そのほか必要に応じて支援員による付き添い支援を実施した。母国の医療機関の診断書による日本の医療機関での診察・投薬の支援も行った。

◎生きがい交流支援

2023 年 1 月 15 日（日）お茶体験交流会 @クリエート浜松和室

参加者：避難民 6 名、浜松いわた信用金庫 2 名、市国際課等 5 名 合計 11 名

2023 年 2 月 16 日（木）ヤマハ・イノベーションロード見学

参加者：避難民 6 名 ウクライナ避難民どうしの交流・お楽しみ

2023 年 6 月 1 日（木）ヤマハ ピアノ工場見学 @掛川市

参加者：避難民 8 名 ウクライナ避難民どうしの交流・お楽しみ

2023年9月 ヤマハ・イノベーションロード見学

参加者：9月新規来日3名

2024年2月21日（水）ウクライナで支援活動を行うパルホメンコ・ボグダン氏を囲む会

参加者：避難民5名

2024年5月26日（日）お茶摘み体験とバーベキュー@キウイ・フルーツカントリー

参加者：避難民8名

2024年11月17日（日）ウクライナ交流会～浜松から 現地から 今を伝える～

参加者：避難民5名、一般市民31名 @多文化共生センターセミナールーム

内 容：①ウクライナの現状報告（パルホメンコ・ボグダン氏より）

②浜松市ウクライナ避難民支援事業報告

③ウクライナの魅力紹介（避難民より）

ウクライナのパンケーキを手作りでふるまった

◎就労支援

アルバイト就労支援3名（遠州信用金庫、花屋㈱IROHA、回転ずし（魚魚丸）、保育園
就職支援 2名に対して支援継続